

関東入厩

8EAST SIDE

レッドベレーザの24

全400口 | 1口出資額70,000円(税込) | 総額2,800万円(税込)

生産牧場 三嶋牧場 育成牧場 三嶋牧場・BTC(予定)



再び産駒が躍進している父に威厳、母は良血牝系の未来を切り拓く

現時点における馬体の特徴と適性

母はクラブ所縁の牝系、G1ヨークシャーオークスを含む4戦全勝の戦績を残した名牝キャッチアズキャッチキャンの孫娘。本馬はリーディングサイアー争いの常連となっている名種牡馬ロードカナロアを父に迎えて登場、大躍進の可能性を秘めた潜在能力高い第2仔です。短めで力強い首差し、胸部の深さが目立つ胸前、背筋が発達し腰にかけてのラインが綺麗な背中、形状が良く張りも十分にあるトモ、肋張りの良さが際立つ胴といったパーツからなる馬体。ほどよい丸みがあり、いかにも父の産駒らしいシルエットが際立ちます。何ら問題を感じない前肢、パワフルで可動域も大きい飛節を持つ後肢と、脚元が丈夫な点も頼もしき強調材料。気持ちが入りやすいタイプでもあり、スプリント～マイル戦が本領発揮の舞台となりそうですが、芝、ダートの双方に対応可能なスピード能力は間違いなく一級品です。

鹿戸雄一調教師コメント

サイズのやや小振りなのですが、一步一步の歩きが力強く、体幹がしっかりしています。全体のバランスは良く、気持ちの面も前向きで好感が持てます。春のG1はロードカナロア産駒の3連勝があったように、やはり非凡な能力を子供に受け継ぐことに秀でた種牡馬ですね。距離はマイルから2000mくらい、母系も質が高いので、今後の成長が楽しみです。師匠である藤澤先生の「1勝より一生」の言葉を肝に銘じ、焦らず本馬の良さを引き出し、タイトルが獲れるよう頑張っていきます。



ロードカナロア
●2024年度JRAリーディングサイアー2位



血統関連馬 レッドベレーザ

ロードカナロア Lord Kanaloa 鹿 2008	キングカメハメハ King Kamehameha 鹿 2001	キングマンボ Kingmambo * マンファス Manfath	Mr. Prospector Miesque * ラストタイクーン Pilot Bird
	レディブラッサム Lady Blossom 鹿 1996	ストームキャット Storm Cat * サラトガデュー Saratoga Dew	Storm Bird Terlingua Cormorant Super Luna
	レッドベレーザ Red Beleza 鹿 2016	* サンデーサイレンス Sunday Silence 鹿 2002	Halo Wishing Well Alzao
		* ウインドインハーヘア Wind In Her Hair	Burghclere
レッドベレーザ Red Beleza 鹿 2016	* レッドメデューサ Red Medousa 栗 2009	ミスターグリーリー Mr. Greeley	Gone West Long Legend
		キャッチアズキャッチキャン Catchascatchcan	Pursuit of Love Catawba

Mr. Prospector: S4×M5



管理予定調教師

鹿戸雄一調教師(美浦)

生年月日◆1962年5月23日 ◆2008年開業(18年目) ◆JRA通算478勝／JRA重賞15勝

【主な管理馬】

- エフフォーリア:有馬記念(G1)、天皇賞・秋(G1)
- スクリーンヒーロー:ジャパンC(G1)
- エフティマイア:桜花賞(G1)2着、オークス(G1)2着
- トロヴァトーレ:ダービー卿CT(G3)
- スマートオリオン:オーシャンS(G3)
- ピッシュ:紫苑S(G3)、オークス(G1)3着
- ウインカーネリアン:東京新聞杯(G3)
- フォーエバーモア:クイーンC(G3)
- ベストアクター:阪急杯(G3)
- セットアップ:札幌2歳S(G3)
- レッドセシリア:阪神JF(G1)3着

※成績は2025年4月27日現在



ファミリー〈母系〉

母の父 ディーブインバクトは早来産、年度代表馬(2回)、12勝、三冠、ジャパンC-G1、宝塚記念-G1。総合・2歳チャンピオンサイアー。BMSチャンピオン。主な産駒:オーギュストロダン(英ダービー-G1)。【BMS:主な産駒】プロウアウト(ファーストレイディS-G1)、キセキ(菊花賞-G1)、ジェラルディーナ(エリザベス女王杯-G1)、プレイディヴェューグ(エリザベス女王杯-G1)

母 レッドベレーザ(16 ディーブインバクト) 2勝、ファンタジーS-G3 5着。本馬は第2仔。産駒 ルージュラポーテ(23牝鹿 レイデオロ)未出走
祖母 *レッドメデューサ(09 Mr. Greeley)米国産、不出走。産駒 レッドランディーニ(牝 ディーブインバクト) 3勝、御室特別、マーメイドS-G3 2着、エルフィンS-L 3着、チューリップ賞-G2 5着
ルージュラテル(牝 ハーツクライ) 3勝、五頭連峰特別、白菊賞、エルフィンS-L 3着
レッドフラヴィア(牝 ダイワメジャー) 4勝、秋風S、蓬萊峡特別
ルージュメサージュ(牝 スピルバーク) 2勝
レッドロスタム(牡 ロードカナロア) 1勝、
曾祖母 キャッチアズキャッチキャン Catchascatchcan(95 Pursuit of Love) 英4勝、ヨークシャー オークス-G1、ランカシャー オークス-G3、Aphrodite S-L。産駒 アントニウス ピウス Antonius Pius:愛2勝、レイルウェイS-G2、英仏・北米入着、BCマイル-G1 2着、セント ジェイムズ パレスS-G1 3着、ムーランド ロンシャン賞-G1 3着。種牡馬
*ソングオブアイズアンドファイア Songoficeandfire:北米2勝、オーキッドS-G3 2着、ピウィッチS-G3 3着、River Memories S 3着
プリンセス ザーラ Princess Zara:不出走。産駒 レイディ マッキー Lady Macki:ペルー1勝。ハッピー ヴァリー Happy Valley(ペルー2000ギニー-G1)、ミス ブラック Miss Black(Premio Gustavo Luna Vertiz-L 2着)、ファクンド Facundo(Premio Mario Manzur Chamy-L 2着)の母
キャッチ ザ ブルー ハット Catch the Blue Hat:仏入着。産駒 キャッチ ザット ソング Catch That Song:不出走。イツェル Itzel(Sweet Life S-L 3着)の母

配合診断

母父の好影響が勝利を量産し続ける一族、満を持して迎えた父が重賞制覇へのスパイス

母レッドベレーザはレッドランディーニ(マーメイドS2着)の全妹。現役時代はファンタジーS(G3)で5着と健闘したスピード馬でした。3代母Catchascatchcanはヨークシャーオークス(英G1・芝12F)を含めて4戦全勝の成績を残した名牝だったので、おそらく2代母の父Mr.Greeleyの仕上がりの早さとスピードが強く影響したのでしょう。父ロードカナロアは日本競馬史上最も優れたスピード馬の一頭で、種牡馬としては芝向きのスプリンターにとどまらず、マイラー、中距離馬、ダートホースなど多彩な産駒を出しています。「ロードカナロア×ディーブインバクト」は、プレイディヴェューグ(エリザベス女王杯)やレッドモンレーヴ(京王杯SC)など7頭の高賞勝ち馬を出している組み合わせ。2歳戦から能力を発揮するスプリンター～マイラーで、成長力も期待できるでしょう。